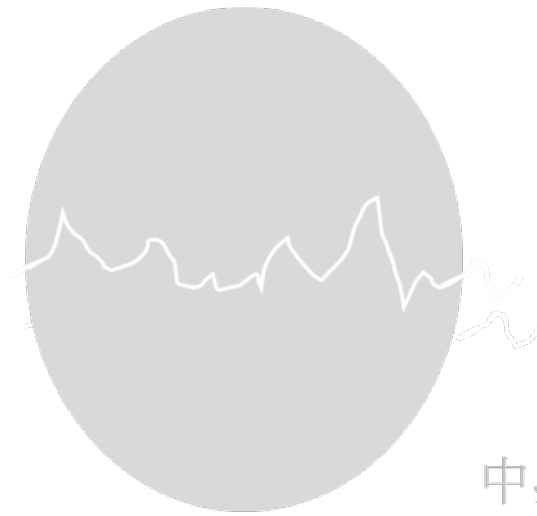


福証IRフェア 会社説明会資料



中身で勝負。



イフジ産業株式会社

会社概要

会社概要

会社名

イフジ産業株式会社

事業内容

- ・鶏卵関連事業 (液卵・冷凍卵等の製造・販売、プロテインの販売)
- ・調味料関連事業 (業務用粉末・顆粒調味料等の製造・販売)
- ・その他 (太陽光発電事業)

設立

1972年(昭和47年)10月

本社所在地

福岡県糟屋郡粕屋町戸原東2-1-29

従業員数

493名(イフジ産業435名、日本化工食品60名) 臨時従業員337名を含む

代表取締役

藤井 宗徳

資本金

455百万円

発行済株式数

8,345,370株
(内、自己株式166,241株)

単元株式数

100株

上場取引所

東京証券取引所 市場第一部
福岡証券取引所 本則市場

証券コード

2924

グループ会社

日本化工食品株式会社

2020年9月末現在

経営理念

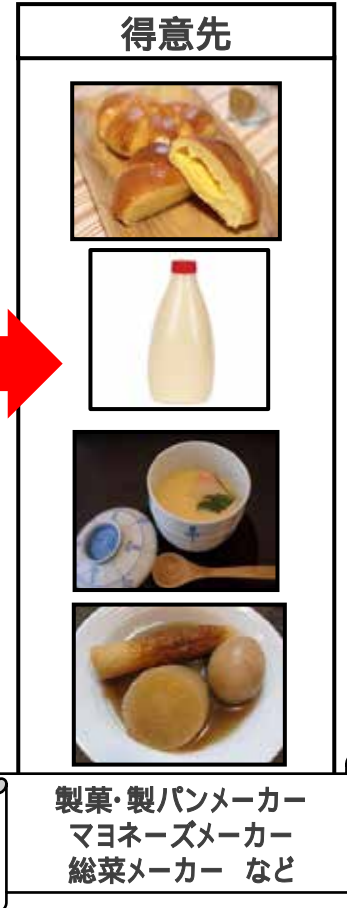


事業の内容【鶏卵関連事業】

原料調達

イフジ産業

得意先



事業の内容【調味料関連事業】

原料調達

日本化工食品

得意先

原料調達



画像はイメージ

日本化工食品

造粒加工



焙煎加工



粉末加工



ブレンド



業務用粉体調味料・顆粒調味料



2009年 日本化工食品(株)の全株式を取得(M & A)を行い、調味料業界へ進出。

得意先



即席麺メーカー
スナックメーカー
ふりかけメーカー
など

画像はイメージ

液卵とは・・・？

液卵とは・・・？

鶏卵を割って中身を取り出したものです。当社では様々な方法による殺菌処理や、卵黄・卵白の分離を行った製品を主力としています。さらには、お客様の用途に合わせて製菓特性や調理特性を持たせる加工を行っています。



液卵を使用する5つのメリット

1.作業効率アップ

割卵の手間が省けて衛生的

2.品質の安定化

製品の均一化を図ることができる

3.経済性

原料費の不安定を抑える

4.貯蔵性

凍結すれば長期保存が可能

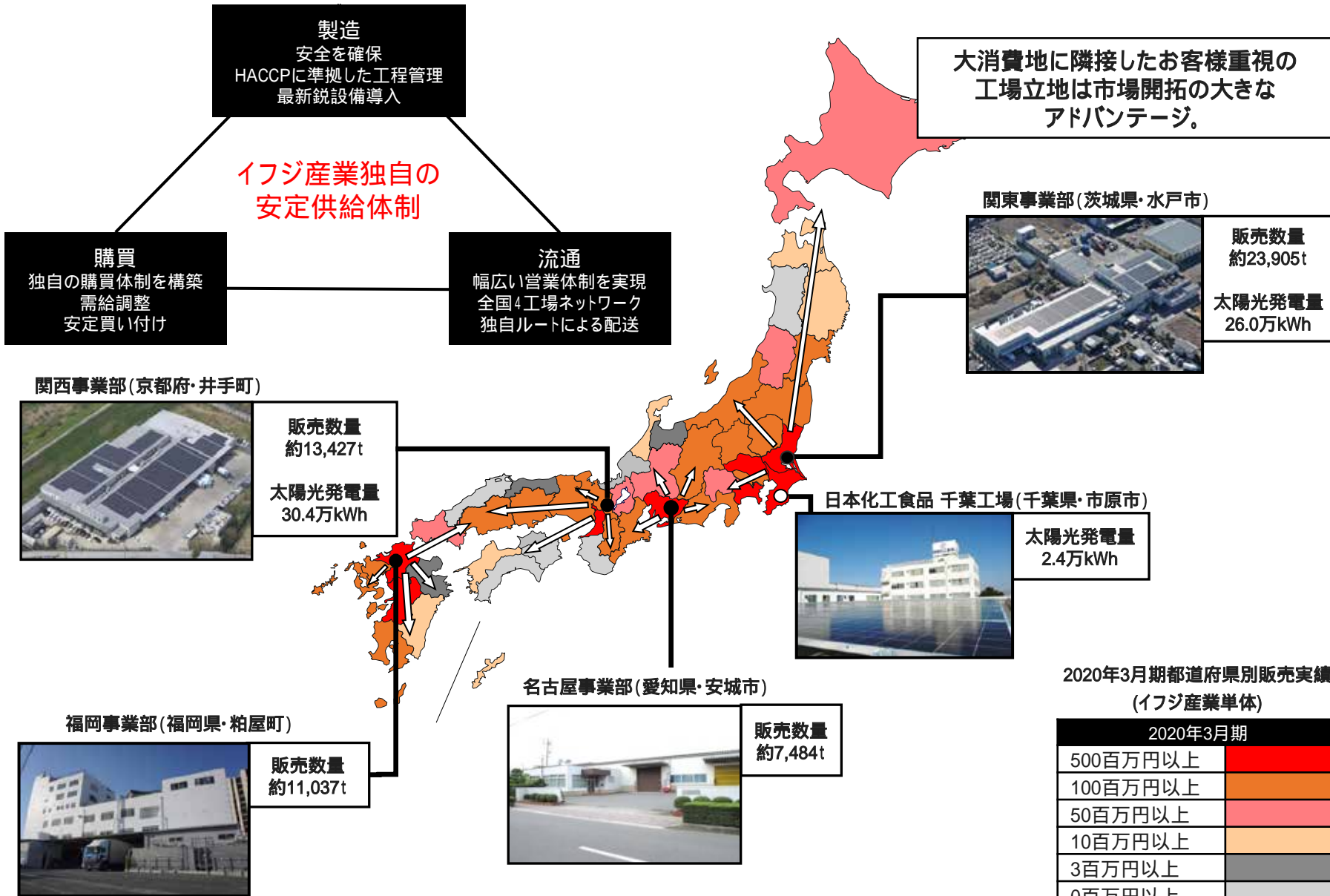
5.作業環境

保管と輸送の効率化 二次汚染の防止

液卵・冷凍卵の種類・用途

品 種	種 別	殺菌有無	冷蔵・冷凍	主 な 用 途
全 卵	ホール	未殺菌	冷蔵	どら焼き・カステラ・厚焼き玉子
	全卵	殺菌・未殺菌	冷蔵・冷凍	洋菓子・和菓子・パン・厚焼き玉子
	加糖全卵	殺菌	冷蔵・冷凍	洋菓子・パン
	加工全卵	殺菌	冷蔵・冷凍	ビスケット・クッキー・パン
卵 黄	卵黄	殺菌・未殺菌	冷蔵	アイス・カスタード
	加糖卵黄	殺菌	冷凍	アイス・カスタード
	加塩卵黄	殺菌	冷凍	マヨネーズ・ドレッシング
卵 白	卵白	殺菌・未殺菌	冷蔵・冷凍	練り製品・洋菓子・和菓子
	製菓用卵白	殺菌・未殺菌	冷凍	洋菓子・和菓子
冷凍食品	茶わん蒸しベース	殺菌	冷凍	茶わん蒸し・出汁巻き玉子

お客様重視のネットワーク

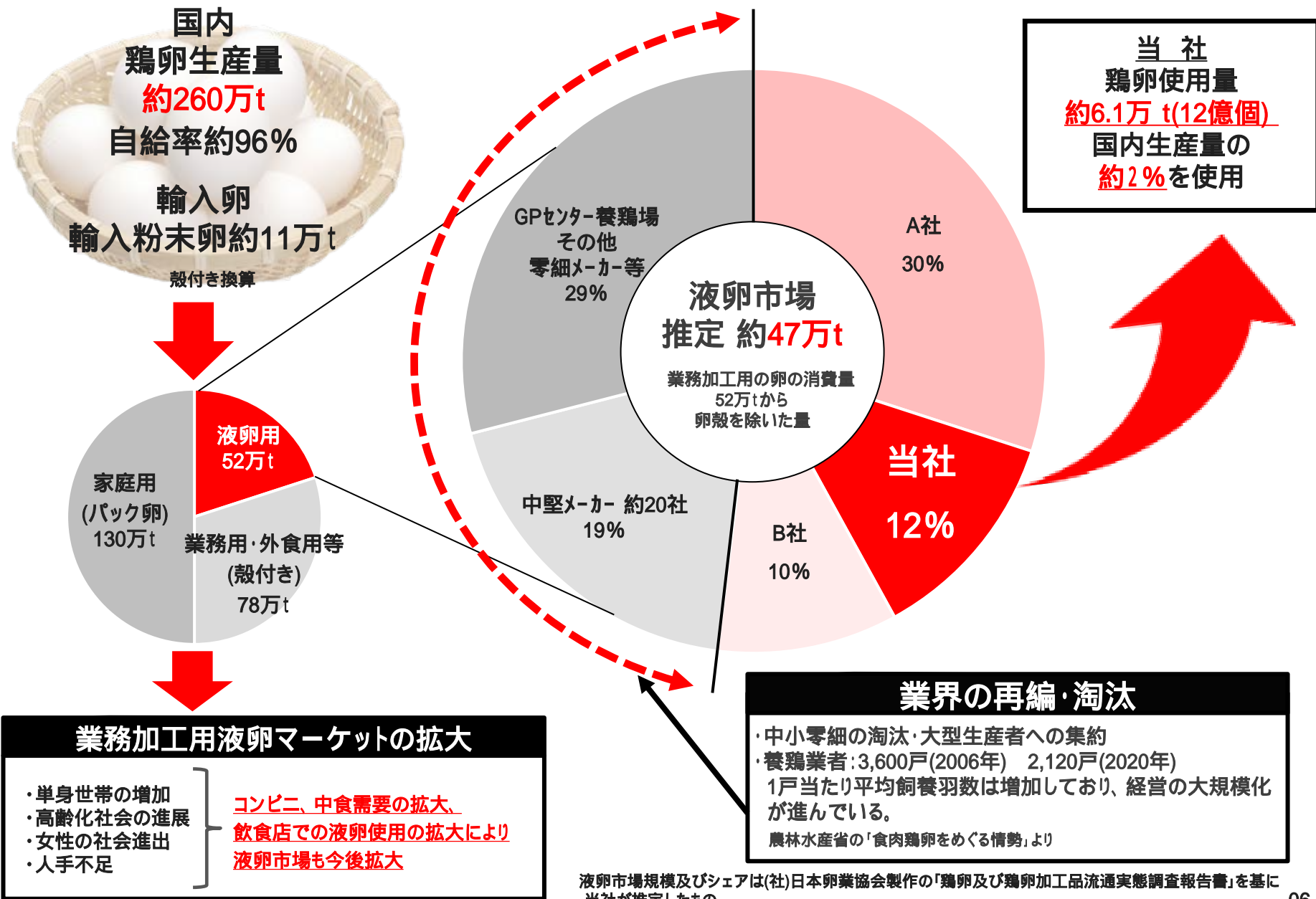


2020年3月期都道府県別販売実績 (イフジ産業単体)

2020年3月期	
500百万円以上	■
100百万円以上	■
50百万円以上	■
10百万円以上	■
3百万円以上	■
0百万円以上	■
0百万円未満	■

販売数量(イフジ産業単体)、発電量は2020年3月期実績による

液卵業界推定シェア

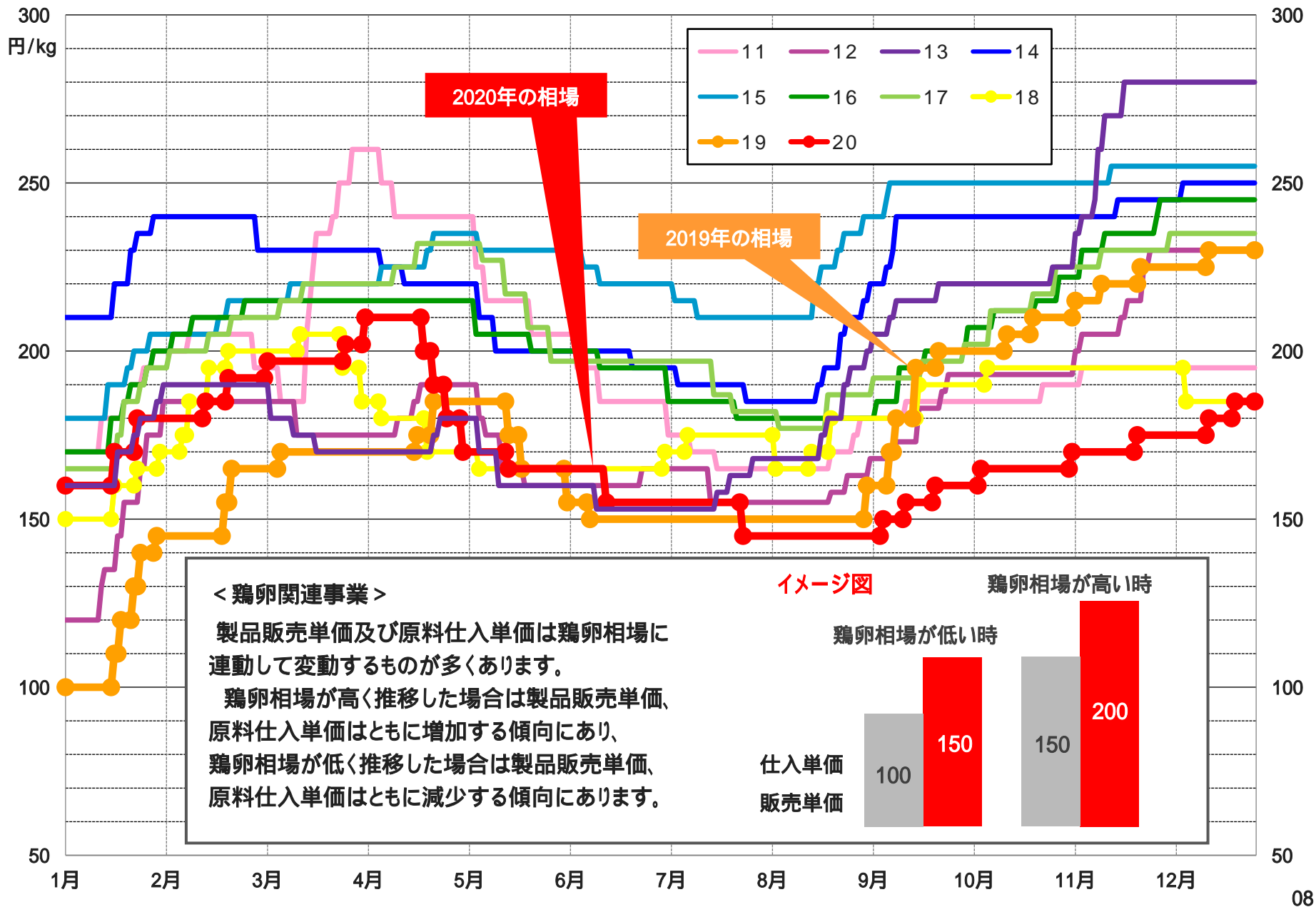


今後の事業展開



決算の概要

鶏卵相場の推移 (東京M基準値)



2021年3月期第3四半期の概要(連結)

2020年3月期 第3四半期	
販売数量 【鶏卵関連事業】	42,530 (t)
売上高	10,856 単位:百万円
営業利益	778
経常利益	796
親会社株主に帰属する 四半期純利益	519

2021年3月期 第3四半期	
販売数量	42,153 (t) 0.9%
売上高	10,264 5.5%
営業利益	過去最高 975 +25.3%
経常利益	過去最高 994 +24.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	過去最高 676 +30.2%

セグメント別業績

(単位:百万円 セグメント間売上含む)

	セグメント別売上高		セグメント別利益	
	2021年 3月期3Q	対前期 増減率	2021年 3月期3Q	対前期 増減率
鶏卵 関連事業	9,400	6.1%	936	+23.7%
調味料 関連事業	881	+1.9%	27	+156.0%
その他 (太陽光発電事業)	20	+1.0%	12	+10.5%

販売

・鶏卵関連事業

【販売数量】

新型コロナウイルス感染症の流行により、土産菓子、外食向け等の需要が落ち込んだものの、冷凍食品メーカーを中心とした「巣ごもり消費」の取り込みや新規取引先の獲得に努めたことにより、前期比 0.9%となった。

(第2四半期累計期間の 3.3%からマイナス幅は減少し、回復基調)

【売上高】

販売数量が微減したことで鶏卵相場が低く推移したことにより前期比 6.1%となった。

・調味料関連事業

インスタントラーメンを中心とした「巣ごもり消費」による販売増。

損益

・鶏卵関連事業

【販売数量回復へ向けた積極的な営業活動】

新規取引先の獲得及び既存取引先の新たな需要開拓

【材料費の低減】

鶏卵相場が低く推移。

規格外卵の調達安定化と状況に応じた柔軟な需給調整による原料調達の安定化。

【製造コストの削減】

工場の生産効率の向上や歩留まり向上により製造コストを削減。

・調味料関連事業

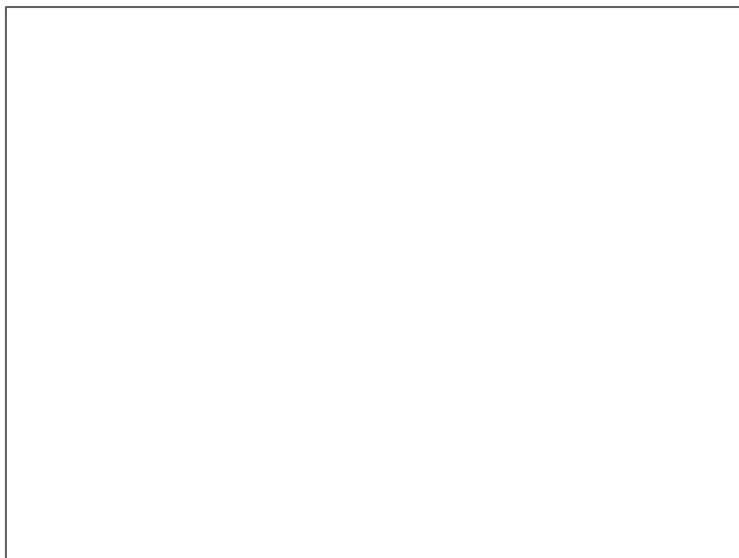
売上高の増加とテレワーク拡大による出張等の見直しにより販売管理費及び一般管理費の削減。

第3四半期累計期間において、**営業利益(3期連続増益)**、**経常利益(3期連続増益)**、**四半期純利益(5期連続増益)**はいずれも過去最高。09

連結貸借対照表

単位: 百万円		2020年3月末	2020年12月末	増減額
	流動資産	5,450	6,453	+ 1,002
	現預金	2,464	2,730	+ 265
	受取手形及び売掛金	1,970	2,578	+ 608
	棚卸資産	998	1,095	+ 96
	固定資産	4,997	4,925	71
	有形固定資産	4,832	4,744	88
	資産合計	10,448	11,379	+ 930
	流動負債	2,388	2,886	+ 497
	支払手形及び買掛金	619	870	+ 251
	短期借入金	898	1,162	+ 263
	固定負債	2,027	1,924	102
	長期借入金	1,402	1,296	105
	負債合計	4,415	4,811	+ 395
	純資産合計	6,032	6,568	+ 535
	負債純資産合計	10,448	11,379	+ 930
	自己資本比率	57.7%	57.7%	

関西事業部に大型充填機を導入



従来の充填



自動充填機

鶏卵関連事業において、2020年5月に関東事業部に続き関西事業部に従来の2.5倍の処理能力となる自動充填機を配備。
人手不足時代を見据え、今後も自動化・省力化を進めていく。

業績推移および業績見通し(連結)

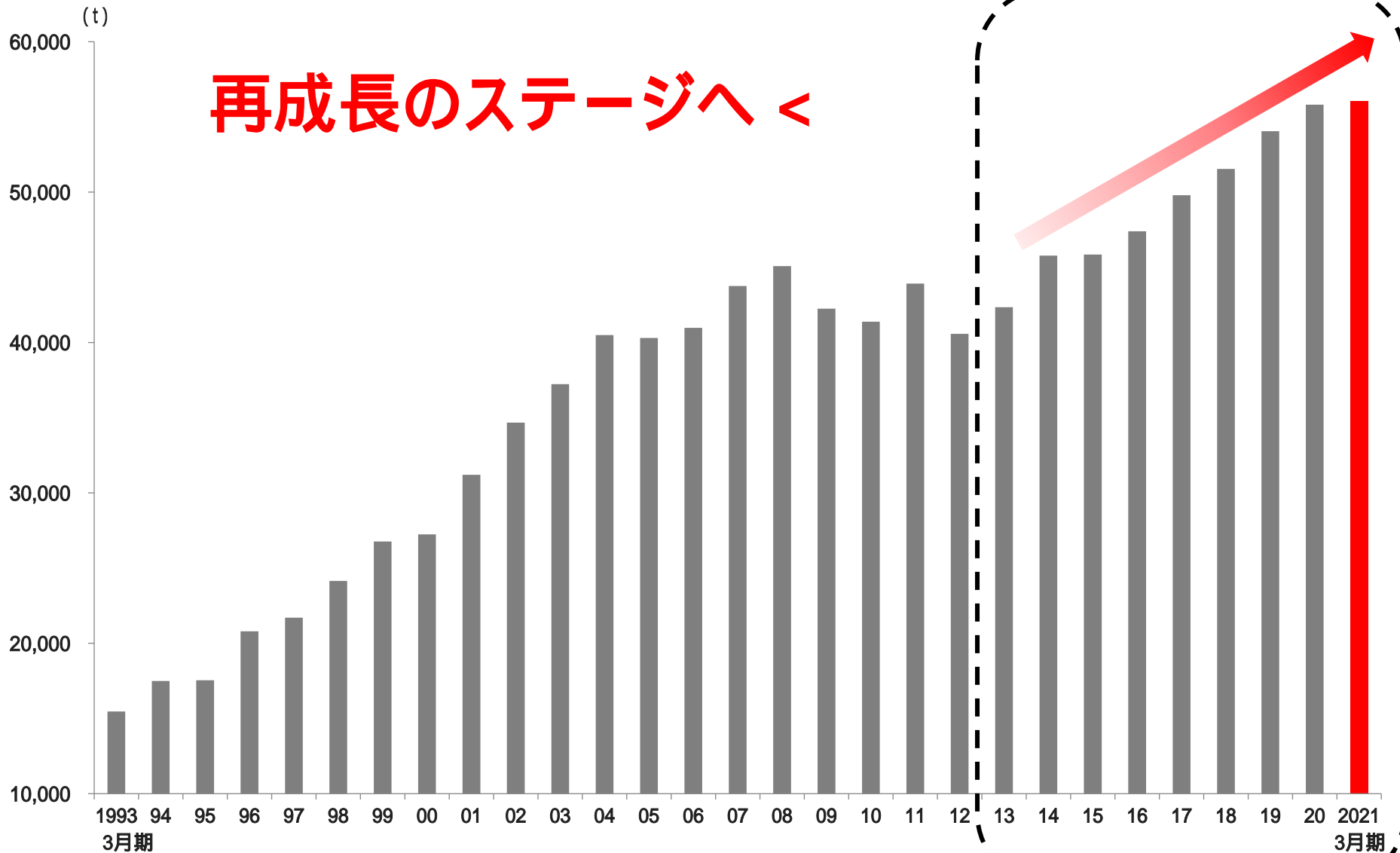
	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期(予)
販売数量(t) 鶏卵関連事業	42,348	45,778	45,846	47,397	49,789	51,538	54,049	55,853	56,038
売上高(百万円)	10,657	12,650	13,130	14,478	14,248	14,396	13,711	14,312	13,854
営業利益(百万円)	786	337	517	642	663	693	806	928	1,036
経常利益(百万円)	825	365	531	665	681	710	828	951	1,057
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	532	1,235	2,388	434	533	555	552	614	717
1株当たり利益(円)	63.93	28.30	46.58	52.21	64.04	66.67	66.28	75.20	87.97
ROE(自己資本当期純利益率)	15.0%	6.3%	9.8%	10.2%	11.5%	10.9%	10.0%	10.5%	—
1株当たり配当金(円)	16.6	16	11	15	(記念配当17 1円を含む)	16	17	20	22
配当性向	26.1%	56.5%	23.6%	28.7%	26.5%	24.0%	25.6%	26.5%	25.0%
配当利回り	3.2%	3.0%	2.0%	2.7%	1.9%	2.0%	2.4%	2.5%	—
時価総額	4,311	4,297	4,514	4,473	7,435	6,501	5,858	6,576	—

- ・2014年3月期 1 鶏卵相場の急騰による割高な当用買いで材料費が増加。販売価格の改定を実施も追いつかず減益。
- ・2015年3月期以降 2 前年度下期から販売価格の改定や原料調達安定化に努め、収益の安定化を図る取り組みを開始。
- ・2018年3月期 販売数量は初めて50,000tを突破。
- ・2020年3月期 7期連続で過去最高の販売数量を記録。営業利益、経常利益、当期純利益も過去最高を記録。

2021年3月期(予)

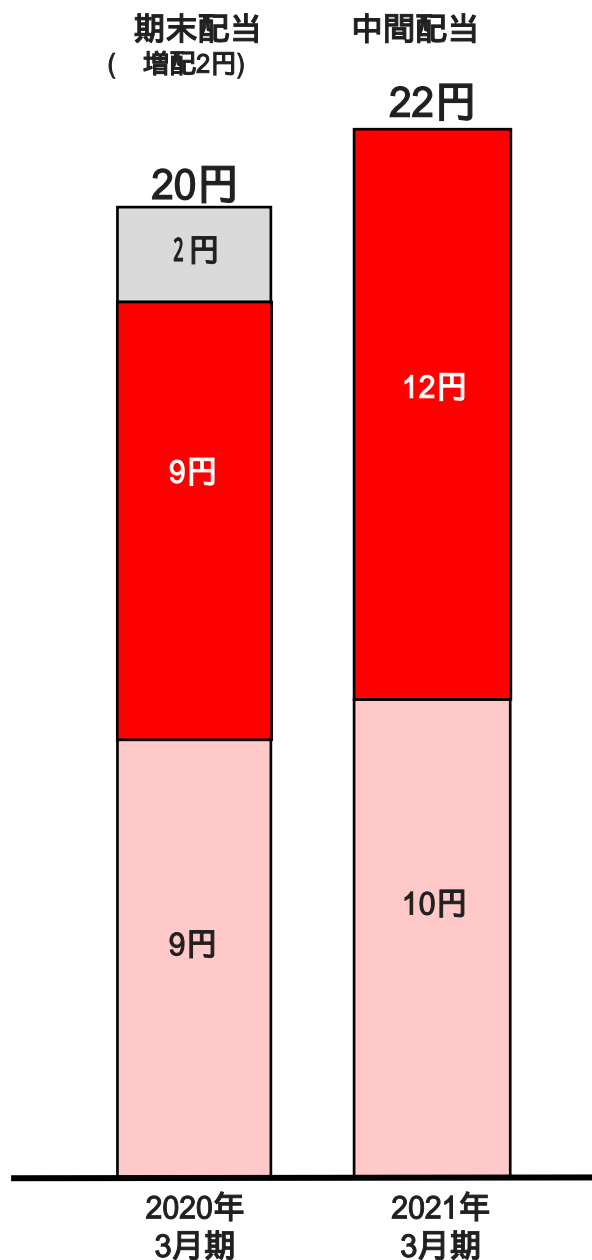
販売数量、営業利益、
経常利益、当期純利益は
過去最高を見込む。

販売数量の推移【イフジ産業(株)単体】



2021年3月期: 8期連続で過去最高の販売数量を更新する予定

配当について



< 配当方針 >

株主の皆様に対する利益還元策として、
連結ベースで配当性向25～30%を目標としております。

< 2021年3月期の配当 >

2021年3月期の期末配当は1株当たり12円の実施を予定。

2021年3月期の中間は1株当たり10円の配当を実施。

2020年3月期は1株当たり20円の配当を実施。(当初予定は中間9円 期末9円)

2020年2月13日に2020年3月期の期末配当を9円 11円へ、2円の増配を発表。



竹本直人 選手



MIHARU 選手



KANEKIN 選手

2020年3月に卵白プロテイン「REVOPRO」を発売いたしました。

「乳糖不使用」「たんぱく体内利用率の高さ」などの特長により高い評価をいただいております。IFBB(国際ボディービルダーズ連盟)のプロ選手3名とスポンサー契約を結んでおります。

卵を通じて、身体作りや健康の維持増進に取り組む人々を応援するとともに、液卵加工のプロとして、良質なたんぱく質を豊富に含む「卵」の持つ真価と可能性を広めてまいります。

■卵白によるプロテイン

乳清由来の「ホエイプロテイン」と大豆由来の「ソイプロテイン」がほとんどを占める中、日本初となる卵白を用いたエッグホワイトプロテインを開発しました。

タマゴのアミノ酸スコア*1は最高値の100。

*1 アミノ酸スコア… 食品中の必須アミノ酸の含有比率を評価するための数値
アミノ酸スコアが高いほどたんぱく質としての栄養価は高い

原材料名：粉末卵白、ココアパウダー/
乳化剤、香料、甘味料(ステビア)
アレルギー表示：一部に卵、大豆を含む
内容量：1kg
価格：5,500円(税込)+送料550円

■乳糖不使用

日本人の4人に1人は乳糖不耐症

日本人の4人に1人は「乳糖不耐症」といわれており、ホエイ(乳清)プロテインを飲まれてお腹の調子がよくない方はこの乳糖不耐症の可能性がります。
REVOPROは乳由来の成分を一切使用していません。

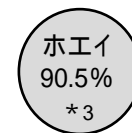
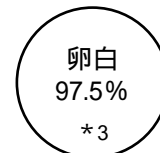
■人工甘味料不使用

年間12億個のタマゴを加工するイフジ産業の知見と日本化工食品の調味料製造で培ったプロの技術力によるコラボレーションにより、人工甘味料不使用でも芳醇かつスッキリとしたコクとキレのあるプレミアムチョコレート味を実現。



■スプーン1杯(30g)で タマゴ約7個分の卵白のたんぱく質

- ・たんぱく原料は「卵白」を100%使用
- ・100g当たり76.3gの高たんぱく質配合
- ・体内利用率*2は良質なたんぱく質とされるホエイよりも優秀



*2 体内利用率…消化・吸収されて体内で利用される割合

*3 Matsuoka et al. The Scientific World Journal 2017

■人気筋トレYoutuberカネキン氏も愛飲



IFBB(International Federation of BodyBuilding & Fitness)
プロのカネキン氏

■販売方法

インターネット通信販売 (詳細はURLよりご覧ください)
Amazonでもお買い求め頂けます。

<https://revopro.jp/>

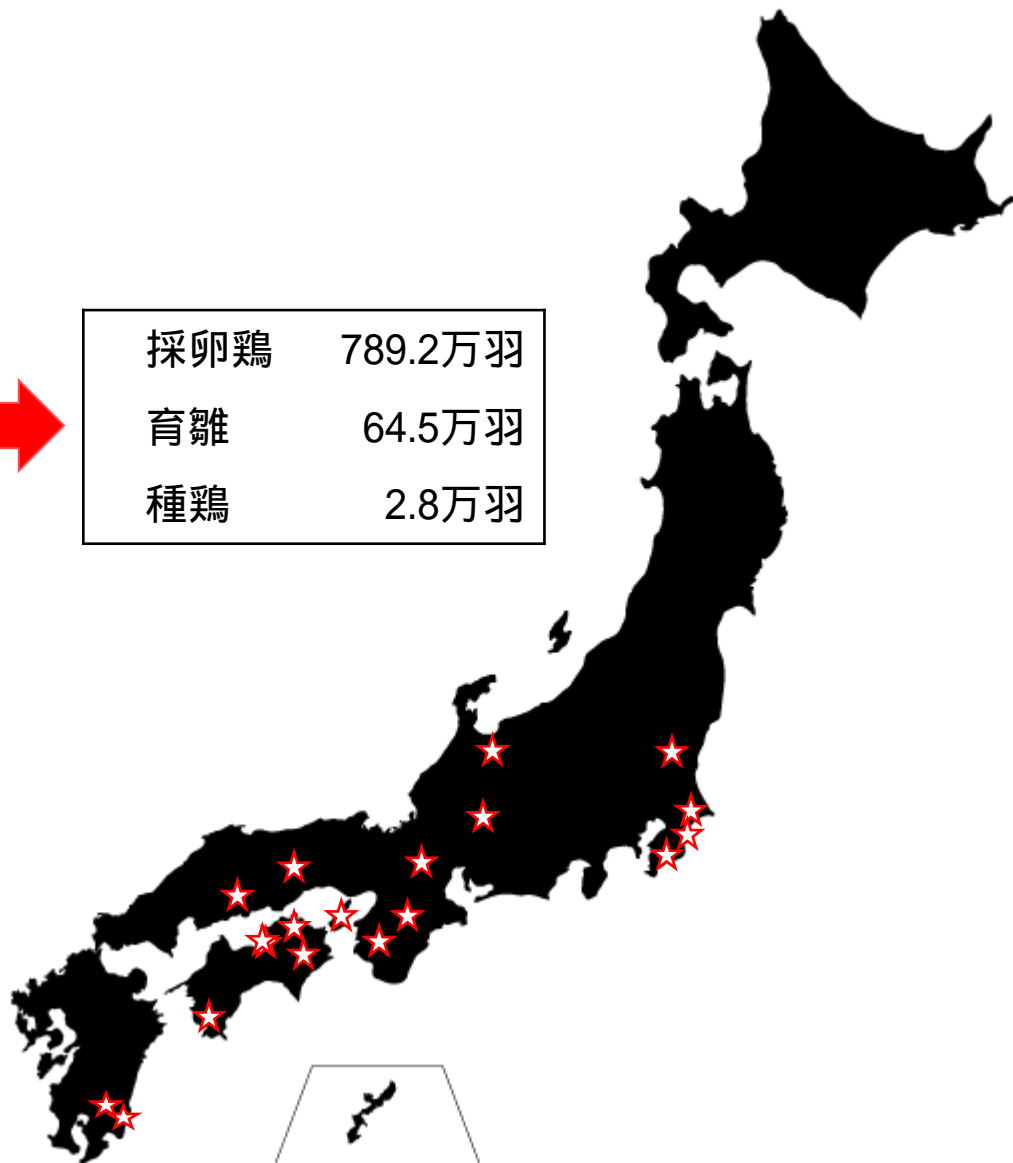


2020年度 国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況 (2021年2月9日時点)

発生地	羽数 (単位:万羽)
千葉県	431.3
香川県	164.0
茨城県	84.0
岡山県	64.5
宮崎県	44.6
兵庫県	14.5
富山県	14.1
広島県	13.7
奈良県	7.7
和歌山県	6.8
岐阜県	6.8
高知県	2.7
滋賀県	1.0
徳島県	0.8
合計	856.5



採卵鶏	789.2万羽
育雛	64.5万羽
種鶏	2.8万羽



業績予想に関する事項

この資料の数値のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、いずれも、資料作成時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものであります。

その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、万が一、この資料を利用した結果被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負いませんのでご承知おきください。



イフジ産業株式会社